

平成 28 年度 1 回 八王子市社会福祉審議会地域福祉専門分科会	
日時・会場	平成 28 年 7 月 27 日(水) 15:00~17:00 八王子市役所本庁舎 501 会議室
出席者	委員 安藤 高夫、大福 族生、菊谷 文男、北井 純子、黒岩 亮子、添田 繁實、森 秀三、和田 清美
	市職員 豊田福祉部長、井上福祉政策課長、平塚子どものしあわせ課長、元木高齢者いきいき課長、溝部高齢者福祉課長、古川障害者福祉課長、田中生活福祉総務課長、荻原生活自立支援課長、木内健康政策課長、高橋地域医療政策課長、岩田協働推進課長
欠席者	小室 崇司
関係者	尾碕ボランティアセンター所長
傍聴	1名
次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 新委員の紹介 3. 会長・副会長選出 4. 報告事項 <ol style="list-style-type: none"> (1)代表者会(平成28年5月30日開催分)の内容について (2)地域福祉推進拠点(石川)の実績について 5. 議題 <ol style="list-style-type: none"> (1)第2期八王子市地域福祉計画の重点課題に係る 27 年度の取り組み及び 28 年度の方針について (2)第3期八王子市地域福祉計画について 6. その他 <ol style="list-style-type: none"> (1)今後の会議日程について 7. 閉会
公開・非公開の別	公開
傍聴人の数	1人
資料	(事前送付分) 【資料①】 地域福祉推進拠点(石川)について 【資料②】 地域福祉計画の重点課題に係る施策一覧 【資料②-別冊】 個票 【資料③】 八王子市地域福祉計画改定に伴う意識調査 【参考資料①】 地域福祉計画と各計画との関連 【参考資料②】 八王子市地域保健福祉計画改定に係る市民への意識調査 (前回アンケート調査票)
会議の要旨	
1. 開会	豊田福祉部長より挨拶
2. 新委員の紹介	委嘱状 交付(黒岩亮子 委員)
3. 会長・副会長選出	<input checked="" type="checkbox"/> 森委員を会長に選出。 <input checked="" type="checkbox"/> 副会長には和田委員が指名された。
4. 報告事項	(1)代表者会の内容について 代表者会(平成28年5月30日開催)に地域福祉専門分科会副会長として出席した森会長より、報告。 <input checked="" type="checkbox"/> 八王子市社会福祉審議会の新会長として児童福祉専門分科会会長の井上委員を選

- 出。
- ✓ 各専門分科会の会長・副会長からそれぞれの活動状況について報告された。

(2) 地域福祉推進拠点（石川）の実績について
事務局より、事業概要と平成27年度の活動状況について説明。

事業概要

- ✓ 運営主体は八王子市社会福祉協議会。
- ✓ 開所は月曜日から土曜日の9時から5時まで。コミュニティソーシャルワーカー（CSW）の職員1名とボランティア3名を配置して、27年度は運営。
- ✓ 「かたらいカフェ石川」は約30名のボランティアによる運営。

27年度の活動実績

- ✓ 各種相談受付 相談受付件数が27年度1年間で78件、うち訪問による相談が28件。
- ✓ カフェの来場者は延べ874名。
- ✓ ボランティアコーディネートの要望受付29件、うち成立21件。
- ✓ 福祉学習会 11回開催、161名参加。趣味講座 19回開催、282名参加。高齢者あんしん相談センター左入との共催の講座 18回、283名参加。

主な質疑・意見は以下のとおり

- 年間来所相談者数は55件と少ないが経費は。
 - ↳ 来所相談件数は少ないが、今後はアウトリーチによる相談体制も整えたい。
- 実際の現場に関わっている社協職員から詳しい話を聞きたい。
 - ↳ 次回参加できるように調整していく。

5. 議題

(1) 議題1. 第2期八王子市地域福祉計画の重点課題にかかる27年度の取り組みと28年度の方針

事務局より概要を説明。

- ✓ 拡充事業について説明。
 - 「高齢者見守り相談窓口設置事業」
孤立防止を目的として、高齢者の生活実態の把握、高齢者あんしん相談センターや民生委員と連携し、地域の見守りのネットワークを広げていく。
 - 「地域福祉推進拠点の運営」
人員体制も強化した中で、相談の中でもアウトリーチに向けた活動、それとボランティアコーディネート、また大きな役割として地域の人材育成を目指す
 - 「発達障害児支援」
学齢児の発達障害児の支援として、発達障害がゆえに不登校になってしまった子どもへの支援を充実。
 - 「障害者地域生活支援拠点事業」
市が委託している5か所の委託相談支援事業所に、障害者の地域生活を支援する拠点となってもらって、そこを起点として相談も受けるし、こちらでもアウトリーチ等をやってもらう事業。
 - 「生活困窮者の自立支援」
生活保護に至る前の生活困窮者の方、収入が少ない方の相談に応じて、その方に合ったプランを作成して自立を支援する。
 - 「児童虐待」
ショートステイの仕組みを充実し虐待リスクに対処。28年度からは八王子版ネ

ウボラ、妊娠期から切れ目のない支援を実施。

主な質疑・意見は以下のとおり

- 地域福祉推進拠点は、実際にどのような運営がなされているのか。また進捗状況は。
 - ↳ 高齢者・子育て・障害者等各分野の事業とのネットワーク構築にむけ、仕組みづくりをしており、今後、協議体等の設置も予定している。
- 生活支援コーディネーターとの連携・活用はどのようになっているか。
 - ↳ 生活支援コーディネーターの場合、対象者は基本的には高齢者になるが、業務やめざす姿は共通している部分が多いため、基本的には地域福祉推進拠点に配置し、共に事業を実施する。
- 市民からの相談は、直接ではなく、中間の組織(民生委員、町会・自治会、NPO等)を通してなされるものもある。このような団体を組織化し、“八王子モデル”の構築が必要ではないか。
- NPO も、出来る範囲ではあるが、対応できることもあるので、働きかけをしてもらいたい。
 - ↳ 地域の中には様々な課題があり、地域の人材育成が必要。石川も含め、地域の課題を把握しながら、地域資源の発掘・活用を図り、課題の解決をめざす。
- 現場の人との意見交換、どうやって組み上げていくか、というような場があるとよい。ワークショップができると良い。

(2) 第3期八王子市地域福祉計画について

事務局より、第3期八王子市地域福祉計画策定に向け実施する意識調査について、調査項目を提示。

- ✓ 前回調査時に、一括実施した保健医療に関するアンケートは別途実施する。
- ✓ 地域福祉に関して掘り下げた質問を設定。生活困窮者に関する設問及び社会福祉協議会が設定する設問を追加。

6. その他

(1) 今後の会議日程について

会議回数について、今年度は3回を予定していたが議論の進行状況により正副会長と事務局にて調整し決定。

7. 閉会

議事録署名人

森 秀三

平成 28 年 9 月 13 日